

会 議 録

会議の名称	第4回 令和6年度日向市上下水道料金等審議会
開催日時	令和6年9月20日（金） 14時00分から15時45分まで
開催場所	日向市中央公民館2階 第2研修室
出席者	<p>【委員】 審議会委員10名、うち出席者9名 学識経験者 宮崎大学地域資源創成学部 学部長 桑野斉 公認会計士 中村景子 関係団体 日向市区長公民館長連合会 理事 日高辰彦 日向商工会議所 事務局長 野口 洋 日向社会福祉協議会 事務局長 大野 靖文 公募市民 出口貴史 山本恵子 関係行政機関 日向土木事務所 技術次長 浜川浩一 日向保健所 衛生環境課長 林田哲也</p> <p>【事務局】 上下水道局長 大坪真司 下水道課長 日吉知博 下水道課 課長補佐 上杉幸司 係長 直野将司、福良晃宏 係員 加那屋聡、大浦沙穂、奥野貴之</p>
議 題	1) 下水道使用料改定率案 2) 答申案の内容確認
会議資料の 名称及び内 容	資料1 説明資料 資料2 答申書（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
	1 開会 桑野会長からの挨拶

	<p>2 前回のふりかえり</p> <p>3 議題</p> <p>1) 下水道使用料改定率案 事務局より説明（資料1の9ページまで） 事務局から提案した改定パターン（一般家庭想定の20m³使用での比較） <u>下記のパターン1とパターン2を組み合わせたもの</u> <u>（令和7年度でパターン1の改定、令和9年度でパターン2の改定を行う。）</u></p> <p>（パターン1） 基本料金：500円/月→600円/月 従量料金：100円/月→110円/月に値上げ（改定率12%）</p> <p>（パターン2） 基本料金：500円/月→600円/月 従量料金：100円/月→120円/月に値上げ（改定率20%）</p> <p>（パターン3） 基本料金：500円/月→600円/月 従量料金：100円/月→125円/月に値上げ（改定率24%）</p> <p>事務局からの説明を受けての意見</p> <p>委員 市民生活への影響（値上がりをなるべく安く）と経費回収率100%を目指す、ということだったら、事務局が示した案がベストと思う。 その他の経営指標を改善しつつ、中長期的に進めることになると思う。 令和9年で経費回収率100%を下回りそうなので、このタイミングでの改定が良いのではないかな。</p> <p>委員 現在色々な資材が物価高騰になっているので、（パターン3）の改定でも市民への説明はできるのかな、と個人的には思った。 ただ、経費回収率100%を超えるのであれば、事務局の案で市民には説明しやすいと思う。市民の方への説明では、経費回収率などの言葉をしっかり説明しないと理解しづらい。 また、資料8、9ページの使用料の各市比較では、日向市が上位に来る流れなので、何も知らない人が見たら「何だろう」と思うはず。市民への説明にはもう少し見せ方などの工夫が必要でないかな。</p> <p>委員 この数年、なぜ使用料の改定を据え置いて、今なぜこのタイミングの改定なのか、わかりやすい説明が必要。数字だけを説明するのではなく、改定はやむをえないことを理解してもらおうようにできれば、と思う。 市民の方は、近くのスーパーの野菜が30円、50円上がっただけで敏感になる。</p>
--	--

委員	<p>例えば、そういう状況で野菜を作っている農家の方の事情にも思いを巡らせられるような…今回の改定も同じような思いをできるような説明をお願いしたい。</p> <p>使用料の改定は、事務局が示されたパターン1と2の組合せが1番良いと思う。</p> <p>事務局が提案された改定案（段階的な改定）は、良いと思う。</p> <p>まず世代間とか、色々なライフスタイル（節水生活など）があり、合併処理浄化槽の区域との公平性、という観点がある。</p> <p>また、先日プレミアム商品券を購入して、普段購入できないものを買えるが、2万円などすぐに使い切ってしまう。抽選に当たらなかった人もいる。</p> <p>市民の方は行政の施策事業を一体的に捉えるので、下水道事業以外の観点からも今回の使用料の値上げが妥当か、色々チェックが入ってくると思う。</p> <p>別の話とは思いますが、雨水対策で道路に側溝を付けて欲しいと要望しても、予算の関係ですぐの対応が難しいこともある。どうしても予算の絡みが出てくる。</p>
事務局	<p>（4人の委員からの意見をふまえての補足説明など）</p> <p>改定のパターン1と2を、これまで説明させていただいた。委員からも意見をいただいた、下水道区域外との公平性の考えで、合併浄化槽の値上げもあり得ると思う。次の10年間（経営戦略の期間）を考えるうえで、今が最終の段階であり、合併処理浄化槽の月額換算費用負担3,475円（資料3ページ）を、市民説明に使う基準の数値として想定している。</p> <p>経費回収率100%の維持をふまえ、市民や事業所への影響を考慮し、改定パターン3つを説明したが、中間の改定率20%が持続可能な上げ幅と考えている。</p> <p>施設の維持管理費、経費の削減も考慮しながらの上げ幅として提案させていただいた。</p>
事務局	<p>雨水対策の話が出たが、浸水の防除も下水道の大きな目的の1つ。浸水被害が出る区域については、浸水被害の軽減対策も行っている。</p> <p>先ほど話が出た道路の側溝については、別の部署の建設課が所管で、優先順位があって、工事を待っていただいている地区もある。関係課の連携で対応はとっている。</p>
委員	<p>市民の方からすれば、馴染みがない情報・数字を伝えること、情報発信や説明責任についての意見が共通事項として出された。</p> <p>行政側として、情報発信で想定していること、考えていることがあれば、ご教示いただきたい。</p>
事務局	<p>これから答申書を協議していただくが、答申書を市長が受けて、その後に市長と改めて協議する。</p> <p>内容の情報発信として、方法はいくつかあるが、今は広報紙やLINEアプリもあるので、この審議会で使った資料とは別に、市民向けにもう少し分かりやすい資料を作って配布することを想定している。また、市民向け説明会が必要と判断され</p>

委員	<p>れば、そういったところでも周知していきたい。</p> <p>今人口減少で税収が減る、経済活動が縮小する流れで、収支のバランスは悪くなるが、当面は（事務局が示した）改定のやり方で良いと思う。</p> <p>「12%上がる、20%上がる」の説明だと衝撃的で「かなり上がる」とのイメージになり、「300円上がる」だと「何とかかな」という気持ちになる。（パーセントと金額の）両方を使って説明することになると思う。</p> <p>場当たりの料金値上げでなく、段階的に上げる必要がある（令和9年度頃に値上げする）との説明も必要。</p>
委員	<p>2段階での値上げは、これで良いかなと思う。先ほどから出ている（合併処理浄化槽の区域との）平等性を考えたとき、最終的にパターン2の3、300円くらいが必要なかな、と感じる。</p> <p>コロナ禍が過ぎて、生活困窮者への貸付金も終了し、住民税も支払えず先の生活が見えない方もいる。そういった方には、例えば負担軽減を考慮しては、と個人的に思う。もちろん水を使った分だけ、料金は支払わないといけない原則はあるが。</p> <p>資料や答申書（案）を確認したが、消費税の税抜きと税込みの金額表記が混在しており、改定率の表現と合わせて、表記を統一した方が良いのでは。</p>
委員	<p>段階的にでも使用料を値上げしていかないといけないことが分かった。</p> <p>経費回収率100%目指すことを、市民の方にどう理解してもらうかが大事。</p> <p>地震や津波対策をしないといけないことや、今後人口減少が進むとか具体的に盛り込んで説明すれば、市民の方々もわかっていただけるのではないかなと思う。</p>
委員	<p>環境に影響が出ないよう、生活排水を継続的に処理するためにも施設の維持管理が必要。値上げはやむを得ないと思う。個人的にはパターン3の値上げもあり得る、と考えていた。</p> <p>合併浄化槽の清掃点検については、徹底できてないところもあり、公平性の観点からも、浄化槽の普及啓発を市と協力していく必要がある。</p> <p>宮崎市や延岡市は、高層ビルやマンションが多く、人口密度が高く、下水道使用料が比較的安い値段で賄えているのかな、という気がする。今後人口減少が進めば人口密度も減るので、やはりパターン3の値上げも最終的には想定しないといけない。</p>
委員	<p>立地適正化計画、いわゆるコンパクトシティ化を進めており、少ない投資でも都市機能を保てるまちづくりを目指している。そういったものと並行することで、負担が可能な限り抑え込まれる、市民の方の負担も少なくなる。</p> <p>日向市の特性を生かせる形で面白い視点だと思う。</p>
事務局	<p>（委員全員の意見をふまえての説明）</p> <p>市民への周知をわかりやすく、という意見が多かった。答申を受けて、周知の仕</p>

事務局

方については、事務局で分かりやすく、多くの市民に知っていただける資料を作ってきたと思う。

市民の方が納得してサービスを利用されるのが1番ベスト。物価高騰などの社会情勢ではあるが、料金の適正な水準のもと必要な財源を確保しなければ、サービスが提供できなくなることは、市民の方々に丁寧に説明していきたいと思う。

(ここまでの意見をふまえ、経費回収率100%を前提として、パターン1の改定を行い、その後にパターン2の改定を組み合わせることについて、委員の異論はないことを確認。今後の社会経済状況に注目すること、世代間や地域別での公平性を考慮することも確認した。)

2) 答申案の確認

事務局から答申案の内容を説明(一部空白)。

会長の方で、答申案の空白部分を埋めていく形で内容を確認。

答申案の以下の箇所が該当。

1 ページ

(1) 改定率

20%の引き上げが必要です。

(2) 改定時期

令和7年度中とします。

使用料の改定は市民生活や企業活動に大きな影響を与えかねないことから、段階的な改定など柔軟な対応を求めます。

5 ページ

○下水道使用料体系

(税抜)

区分	現行	改定案	改定額	改定率
基本料金	500円	600円	100円	20%
水量料金	100円/m ³	120円/m ³	20円/m ³	20%

改定案の場合、使用量が20m³で使用料は月額3,300円(税込)となり、合併処理浄化槽利用者の月額換算3,475円(税込)範囲内において、経費回収率100%以上を達成することができる見込みであります。

6 ページ

【改定の時期】

一般会計繰入金に依存した経営状況からの改善は急務と考えることから、令和7年度中の改定が望ましいと判断します。

ただし、市民生活や事業者への影響を考慮し、段階的な改定措置も必要と考えます。

区分	現行	改定案① 令和7年度	改定案② 令和9年度
基本料金	500円	600円	600円
水量料金	100円/m ³	110円/m ³	120円/m ³

改定案①では直ちに経費回収率100%を超える見込みですが、令和9年度には再び100%を下回ることが懸念されます。このため、令和9年度に2回目の改定を行うことで、次期見直しを行う令和11年度まで経費回収率の100%以上を維持できる見込みになります。

その他、答申案に関する意見

・料金の税抜き・税込みの表記が混在しているので、税込みの表記に統一をお願いしたい。

・一部表現の修正（地方公営企業の全部適用、といった専門用語の見直しなど）

・下水道区域の縮小について、市民説明会を行った際、住民の方が数名と区長しか集まらなかったことがあった。今回の料金改定についても、説明会をするなら早めに周知をお願いしたい。

・市の公式LINEでは、日向市の情報が頻繁に投稿されている。その情報なら、みんな見るので、正しく伝わりやすいのではないか。

4 その他

今後のスケジュールについて、事務局より説明。

・答申書の内容について、会長と事務局で精査。

・10月10日（木） 第5回審議会（答申）

審議会の委員全員が出席予定。市長に答申書を提出する。その後に市長との意見交換を行う。

日程が近づいたら、改めて委員に案内を出す。

・答申を受けて、市長と事務局で料金改定の審議を行う。

5 閉会

桑野会長、事務局（大坪局長） あいさつ